

楽しい子育てをめざして!

岡山市の子育て環境の現状(約20年前と比較して)

1歳6か月児健診(H21.12実施)を受診した453人の育児環境調査から(平成20年5月生まれの子どもを対象) < >は昭和63年度結果

核家族 87.2% <70.3%>

アパート・マンション 50.3%

(うち3階以上の集合住宅 13.9% <9.4%>)

子育ての楽しさ 95.6%

子育ての悩み 74.6%

イライラして子どもを たたくことがある 14.6%

朝食を抜くことがある子 2.6%

朝食時間が10時台以降の子 3.5%

食事以外の飲食3回以上 10.4%

朝8時以降に起床する子 13.7% <17.2%>

夜10時以降に寝る子 11.1% <17.0%>

テレビを4時間以上見る子 23.4% <17.0% S60年>

安心して遊べる場所のない子 15.2%

戸外遊びの少ない子 (1時間未満) 48.8% <10.0%>

父親の育児参加あり 46.1%

父親の家事参加時々あり 48.8%

夫婦と一緒に子育てしている 実感あり 74.6%



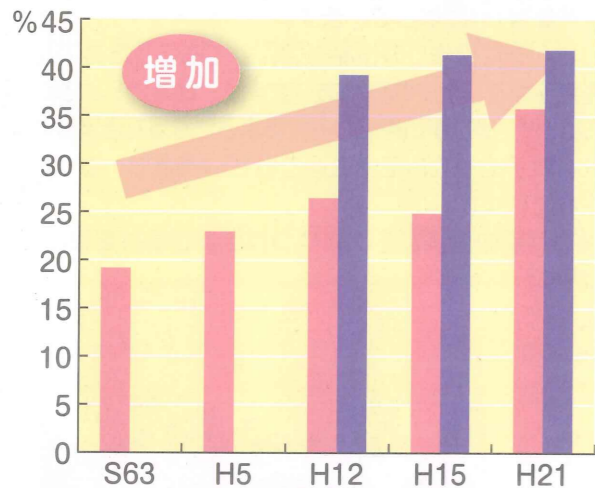
おやこクラブ加入率 16.6% <23.0%>

仕事を持つ母親 35.8% <19.2%>



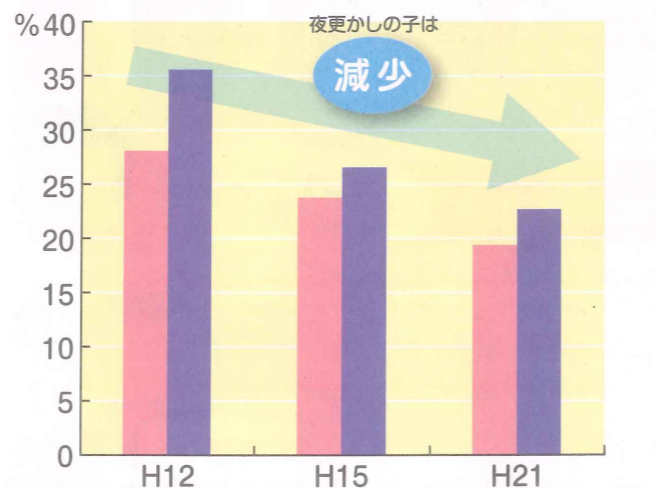
家庭環境の変化

■仕事を持つ母親 ■父親の育児参加



生活リズムの変化

■朝8時以降に起床する子 ■夜10時以降に寝る子



20年前に比べ核家族化がすすみ、住宅や地域の環境変化により外遊びの減少が見られます。働く母親が増え、父親の育児参加や早寝早起の生活習慣を持つ家庭は増えているようです。時代とともに子育て環境は変化しますが、子どもたちの健やかなこころと体を育てるために家庭・地域で工夫できること、大切にしたいことを考えてみてください。

【お問い合わせ先】岡山市保健所健康づくり課 086-803-1263



健康で豊かな生活をめざす
愛育活動の情報誌

2010.10
38

発行/岡山市愛育委員協議会
事務局/〒700-8546 岡山市北区鹿田町1-1-1
岡山市保健福祉会館2階
TEL.086-803-1263 FAX.086-803-1758

45周年記念大会開催!

岡山市愛育委員協議会

45年のあゆみ



昭和初期の我が国の乳幼児の死亡率が高いことや、流産が多いことに着目した恩賜財団母子愛育会(昭和天皇のご下賜金によって設立)が、町村民の総意による町づくりの一環として、昭和11年に愛育村事業が始められました。岡山県では、御津郡野谷村(現岡山市北区津高)など4か所が指定愛育村として愛育班員による母子保健活動が進められました。その後岡山県の政策として県下全域に愛育委員組織が広がりました。昭和30年に岡山県愛育委員連合会が誕生しました。岡山市では、昭和40年に婦人会から独立して岡山市愛育委員研究協議会が結成されました。34地区愛育委員会が一つにまとまりスタートしてから今年で45周年を迎え、今回の記念大会が開催されました。大会に参加した約300名の愛育委員は、歴史の重みとヘルスポランティアとしての責任を強く感じました。

岡山市愛育委員 45周年記念大会並びに



45周年記念健康キルト

体験発表



市の愛育委員会が誕生したときは、約82,000人だった岡山市の人口も、平成22年度には約705,000人と増え、それに従い愛育委員も、1,458人から5,404人となりました。皆様に信頼され愛される愛育委員として地域性を活かしたキメ細やかな活動をこれからも続けます。

初心を忘れず、時代に即した活動をめざして!

～今も、地域の人たちの健康を願う気持ちが愛育の基本です…～

さらに



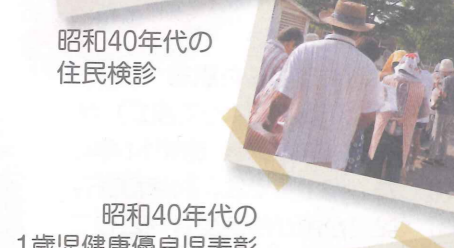
昭和40年代の乳児健診



現在の赤ちゃんすこやか相談



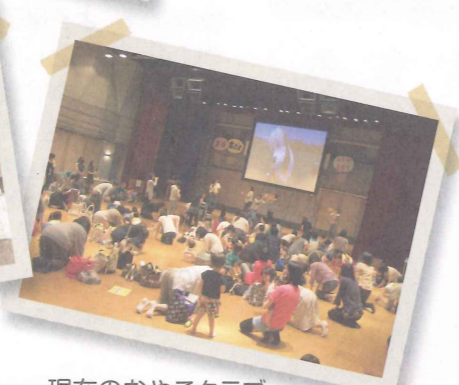
現在の胃がん検診



昭和40年代の住民検診



昭和40年代の1歳児健康優良児表彰



現在のおやこクラブ

- ひとめでわかる愛育活動の足跡
- S26~38年 岡山34地区で愛育活動開始
 - S40年 岡山市愛育委員研究協議会を結成母子クラブ(現/おやこクラブ)の育成に協力
 - S45年 旧西大寺市が加入
 - S46年 岡山市愛育委員協議会に改称
 - H6年 9支所が加入「ねたきり老人ゼロ作戦」へ協力
 - H8年 「精神保健啓発事業」開始
 - H10年 「情報誌ai」創刊6地域体制になる
 - H15年 「健康市民おかやま21」に取り組む
 - H17年 御津・灘崎が合併
 - H19年 建部・瀬戸が合併
 - H20年 「こんには赤ちゃん訪問」開始
 - H21年 4区6地域体制へ再編(再編)
 - H22年 現在100地区・学区

おっぱい先生のいいお話

元岡山医療センター小児科医長

山内 芳忠 先生



地域ではぐくむ母子保健

愛育委員協議会は「母乳育児をすすめ、子育て支援をしましょう」を重点目標の一つとして活動しています。

45周年記念大会では母子保健(母と子の健康づくり)について記念講演会を開催しました。

「授乳は母親の健康を守り、産後の母体回復促進・卵巣がんの減少、閉経後の乳がん、骨粗しょう症の減少に影響する。そして、抱いておっぱいを含ませることで安心感・信頼感を生み親子の強い絆へと発展する。母乳から抗体をもらった赤ちゃんは、いろいろな病気に罹る率が低い。」や少子化の一方で、早期産・低出生体重児が増加しており「妊娠前からの喫煙(受動喫煙)防止、アルコール・カフェイン(紅茶・緑茶)の摂取やダイエットなど食生活に注意しましょう。」とお話がありました。

母乳育児は、母親の育児力と観察力を自然に養います。授乳からの育児支援を推進し、親子のスキンシップやふれあいの大切さを伝え、地域みんなで子育てを見守っていきましょう。

赤ちゃんとおかあさんのための…

あい探訪

七区・灘崎・彦崎学区

「健康市民おかやま21」の推進として、ウォーキングの会を5月に実施しました。健康づくりを目的に毎年地域全体に呼びかけています。今年度は愛育委員会が3小学校区に分かれて初めての合同事業となるので各学区の委員はお知らせのチラシなど前準備に頑張りました。

実施当日は、愛育委員はもちろんのこと地域の人たちが大勢集まりました。愛育委員が地区の参加者の受付をし脈拍測定・軽い準備運動など行い、コースの説明をしました。いち推しは児島塩場56番札所清水寺(弘仁六年弘法大師によって創設された)が4Kコースの範囲にあると知り、参加者の興味が盛り上がりました。鳥の囀りをききながら大勢の笑顔につつまれて和気あいあいと健康寿命を延伸することができました。



福田学区

福田学区は出生率が高く、母子支援活動に力を入れています。

おやこクラブや幼稚園等との交流以外にも、子育てのサロンを毎月1回開催しています。

お母さん方に手作りの作品を製作してもらうための材料を揃えるなど、大変な事もありますが、地域からよこばれることで、やりがいを感じられるようになってきました。

また、親子でうれしそうに過ごしている姿に、こちらが癒されています。

今後も月別の企画から、おやつ作りまで検討を重ね、少しでも喜んでもらう事が出来るように頑張っていきたいと思えます。



こんにちは 赤ちゃん訪問

H21.9 ~ H22.2 までの半年間

中区中地域

誕生:760人 訪問愛育委員:のべ429人 会えた割合:87%

地域の子育て中の皆さんと愛育委員との交流も少しずつ広がっています。おやこクラブへの入会とすこやか相談の参加者が増えています。先日絵本をお届けするとお母さんが、「あーっ、この本私が子どもの時に読んでました本です! なつかしい!!」と話してくれました。これから毎月訪問させていただきます。合言葉は「こんにちは!」です。

東区東地域

誕生:387人 訪問愛育委員:のべ259人 会えた割合:84%

人口も出生数も、4つの区の中で一番少ない区です。2007年に合併した瀬戸支部は、以前より「赤ちゃん誕生お祝い訪問」を行っていらしたのでスムーズに始められました。他の学区もお会いできるまで訪問するよう頑張ります。事業を開始してから徐々に訪問率もあがっています。近くは実家や親類等育児の協力者がいたり、第2子以後の赤ちゃんも多く、おやこクラブの育児をしていただいています。

このコーナーは今回で終了です。

「こんにちは 赤ちゃん訪問」の活動は、ずーっと続きます。これからもよろしく!